

目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員全員が利用者一人ひとりの状態に合わせた言葉かけや対応ができるようにする。	認知症の人を理解し、コミュニケーション技術の基本を身につける。	自己の声かけや話し方についてアンケートをとり、自分自身を知り、ゆっくり丁寧な話し方や1度にたくさん話さない、ジェスチャーを取り入れる、後ろから話さない、近くに行き話す、大きい声を出さないなど具体的に実践して振り返りながら身につけていく。	6ヶ月
2	55	利用者がどこまで出来てどこまで出来ないかを把握していないことがあり、過剰介護になる傾向が見られ自立を妨げることがある。	利用者一人ひとりの残っている能力を活かし、安全でかつできるだけ自立した生活が出来るようになる。	一人ひとりの残っている能力を、生活を共にしながら観察し、職員の共通認識のもとで支援していく。ケアプランの見直しをし、出来る事をのばす項目を盛り込み実践する。	12ヶ月
3	40	食事内容が同じパターン(和風化)になっている傾向があり、変化が乏しい。調理などに参加できる利用者への参加促しの声かけが少なくなっている。	季節の食材を取り入れ、食事内容が変化し利用者一人ひとりの好みを取り入れていく。	同じ食材が重ならないよう2週間ごとに話し合い、メニュー作りをしていく。同じ食材でも調理方法を変えていく。調理に参加できる利用者へ声をかけ、参加を促し一緒に楽しむ。後片付けなども無理強いではなく、して下さる利用者にはお願いする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。